

## 【PDCA】

### IV 地域や家族のつながりをつくるまちづくり

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	妊婦等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	妊婦等保健相談事業	事業番号	1104		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	2	連番

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	妊娠前から出産、子育て期まで、安心して相談できる体制、環境づくりを構築する。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<p>妊産婦が智頭町で安心して、穏やかに過ごすことができるように、妊産婦支援、子育て支援策を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳の交付 ・家庭訪問、面談、電話相談の実施 ・産後ケア事業、産前・産後サポート事業の実施</li> <li>・妊婦健診、産婦健診、歯科健診の費用助成 ・特定不妊治療費の助成 ・不育症検査治療費の助成</li> </ul>

### R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>	4,457,925円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	産前・産後サポート事業	件(延)	2	2	0	0%
②	産後ケア事業	件(延)	17	10	0	0%
③	妊産婦家庭訪問・面談・電話相談	件(延)	15	10	4	27%
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時、妊産婦家庭訪問、面談、電話相談を実施する。</li> <li>・妊婦一般健康診査、産後健康診査の結果を把握し、必要な妊産婦へ訪問や相談を行う。</li> <li>・産前・産後サポート事業、産後ケア事業の実施体制を継続。実績は0件。</li> <li>・各健診費用の助成、特定不妊治療費や不育症検査治療費の助成を実施。</li> </ul>					

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4は妊娠件数が減少していることに加え、第2子以降の妊娠が多いため、育児不安等を抱える妊産婦は減っており、産後ケア、産前・産後サポート事業の対象となる妊産婦がほぼいなかった。</li> <li>・母子健康手帳交付時以外、妊婦に接する機会が少なく、要支援妊婦を十分把握できていない可能性がある。</li> </ul>					

### R4年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：法律に基づき、実施するべき事業であるため。				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年1月1日より、「妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施(出産・子育て応援交付金)」を開始。</li> <li>この事業により、母子健康手帳交付時以外に妊婦へ面談等できる機会が増えるため、今まで以上に妊産婦への切れ目ない支援を充実させる。</li> <li>・子育てモバイルアプリを導入し、子育て支援に関する情報発信を充実させる。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	出合いの場「恋活」	所属	企画課	SDG s	5
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	3	連番

R4年度

Goal(目標)	豊かな自然の中で出合いの場として「恋活」を企画し、本町が思い出となりふるさととなることで移住者の増加を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麒麟のまち婚活事業を1市6町とともに実施。</li> <li>・町内企業や地区振興協議会にも広報し、若手の参加を募る。</li> <li>・イベントを実施するにあたっては、町のPRに繋がるような内容とする。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	婚活イベントの開催	回	1	0	1	100%
②	婚活イベントの参加者数	人	0	0	11	#DIV/0!
③	智頭町婚活支援事業補助金の交付	円	0	0	0	#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部4町婚活イベントは令和4年度より廃止とし、1市6町による麒麟のまち婚活事業を実施。</li> <li>・10月に町内で森林セラピー婚活イベント（癒やしの婚活@智頭町）を実施。カップル3組が成立。</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・麒麟のまちで行うため予算なし。麒麟のまち婚活サポートセンターがイベント企画を行い、告知などを町で行った。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：補助率も良く、活用しやすい事業であり、積極的な周知が必要				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・麒麟のまちでの婚活事業が活発化しているため、積極的に協議・活動へ参加する。</li> <li>・今年度はコロナウイルスの5類移行に合わせ、11月に鳥取市での大規模イベントを計画。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き家バンクの充実	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	4	連番

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	地域団体及び地域住民と連携し、空き家バンク制度を運営。移住希望者へ空き家のスムーズな紹介、及び空き家活用を推進し、廃屋となる物件増加に歯止めをかける。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29実施の空き家実態調査のローリング調査を行い、町内の空き家を発掘し、空き家バンクへの登録を促す。</li> <li>・ 空き家ノートを作成し、空き家所有者への啓発を行う。</li> <li>・ 空き家バンク情報を整理し、HPに公開する。</li> </ul>

R4年度（年度末に実績を記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>				<b>200,000円</b>	
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
① 新規空き家登録数	件	18	20	28	156%	
② 空き家ローリング調査（集落数）	集落	0	88	88	#DIV/0!	
③					#DIV/0!	
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家バンクの運営</li> <li>・ 空き家ノートの作成</li> <li>・ 固定資産税送付の際に空き家バンク情報の掲載</li> </ul>					

R4年度（年度末に記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定資産税送付の際に空き家バンク情報を掲載したことで新規登録が増加した。</li> <li>・ 空き家バンク情報をHPに公開したことにより利用者の利便性向上に努めた。</li> </ul>					

R4年度（年度末に記入）

評価	A
----	---

担当課長評価

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

コロナウイルス感染症の影響により、移住と観光が近い関係となってい  
 評価理由： る。令和4年度には「観光・移住定住ビジョン」を策定するので、移住と観  
 光施策のシナジー効果を生む取り組みを検討していく必要がある

R4年度（11月末に記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家調査の結果を基に新規空き家の発掘・空き家バンクへの登録を促し空き家利活用流通を促進する。</li> </ul>



## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特別支援学校通学児童生徒の支援と保護者の負担の軽減	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	7	連番

R4 年度

Goal(目標)	県立特別支援学校に通学する児童生徒と保護者の負担軽減し、学びを保障するため、福祉有償運送事業者に通学に係る業務を委託するとともに、通学に係る経費を支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の通学支援事業を活用し、県立特別支援学校に通学する児童生徒、保護者を支援する。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)		R4 実績額	2,511,702円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	通学支援委託による登下校支援	回	381	396	386	101%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭町シルバー人材センターに特別支援学校への通学支援事業を委託。</li> </ul>				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立特別支援学校までの通学距離が長く、入学年度には通学支援を要する児童生徒が増える傾向にある。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：子どもの障がいや特性に応じた支援と学習機会を保障している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭のニーズに寄り添い、子どもの学習保障を行う上では必要な措置である。</li> <li>・子どもの育ちと将来的な自立を見据え、きめ細やかな通学支援を行う。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	豊かな子育て支援の推進	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	子育て推進事務	事業番号	1784		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	8	連番

R4 年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<p>・子育て世帯の育児・教育にかかる費用を補助し、子育てがしやすい暮らしをサポートする。</p>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	2,704,752円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	対象者に子育て給付金制度の活用を周知	戸	15	10	9	60%
②	智頭農林高校と連携した補助金交付	人	1	2	0	0%
③	対象家庭(高校生)に補助制度を周知	戸	70	70	74	106%
実施内容	<p>(1)補助金制度を対象者に周知し活用を進めることで、制度の趣旨に沿った効果を拡大させる。                  (2)福祉課と連携して保護者ニーズを把握し、子育ての困り感の解消に向けた対策を検討する。</p>					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>(1)子育て給付金 就労(保育園入所)より在宅育児を選ぶためのインセンティブとして月額30千円は少額だが勤務先で育児休業手当の支給がない保護者にとって経済的な救済効果は大きい。                  (2)高校生通学費補助 居住地によって異なる通学費用が是正され、公平性が保たれている。</p>					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 育児・教育経費の負担軽減が、充実した家庭教育に繋がっている。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<p>在宅育児給付金も高校生通学費補助も、活用を増やすことが目的ではなく、補助が必要な方に活用していただけるよう、対象者への周知を継続する。</p>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ファミリーサポートセンター推進事業	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	ファミリーサポート事業の推進	事業番号	1788		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作る町づくり			
	視点	家族	事業番号	9	連番

R4 年度

<b>Goal(目標)</b>	依頼会員と支援会員がお互いに会員になり、地域での子育ての相互援助を行う。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーサポートにより、育児のスキマを支え、子育てしやすい暮らしをサポートするために</li> <li>・子育てのサポートができる会員、助けてほしい会員を把握し、相互援助のための調整を行う。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

<b>Do(実行)</b>	<b>R4 実績額</b>	194,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	依頼会員	人	58	40	51	88%
②	支援会員	人	2	3	4	200%
③	支援利用数	人	24	25	0	0%
<b>実施内容</b>		<p>会員から、次の子育て依頼に応える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園、小学校、児童クラブ等から習い事や自宅への送迎</li> <li>・ 休日の食事付きの託児</li> <li>・ 閉園後の一時預かり</li> <li>・ 会員の講習会など</li> </ul>				

R4 年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前から会員の更新がなされていなかったため、現在のニーズに合わせて会員を精査した。</li> <li>・ 養育者の手が届かない「子育てスキマ」は少なからず存在すると思われるが、他者に依頼するまでもない場合が多い。</li> <li>・ どこにも相談できない方のセーフティネットとして機能を維持していければよいと考えている。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 育児のスキマを埋めるサポートにより、安心した子育て環境を整えている。				

R4 年度

<b>Action(改善)</b>	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児家庭に制度の周知を行い、本当に困った時には活用できる体制を整えたい。</li> <li>・ 乳幼児の母親と意見交換の機会を設け、日常の子育てスキマとサポート需要を把握したい。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子育て支援ネットワーク協議会の取組の推進	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	子ども家庭福祉事業	事業番号	2083			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり				
	視点	家族	事業番号	10	連番	111

R4年度

Goal(目標)	子どもと子育てにやさしいまちづくりを実現する。
Plan(事業概要・計画)	<p>○要保護児童対策地域協議会(子育てネットワーク協議会)の適切な運営を図る。</p> <p>・代表者会議(年に1回)      ・実務者会議(年に2回)      ・個別ケース会議(随時)</p> <p>○普及啓発活動(11月の児童虐待防止推進月間に重点的に取り組む)</p>

R4年度

Do(実行)	R4実績額				88,329円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	虐待通告(相談)件数	件	22	15	23	105%
②	虐待認定件数	件	3	2	11	367%
③	個別ケース会議数	件	7	5	8	114%
実施内容		<p>・虐待通告(相談)件数：23件      ・虐待認定件数：11件</p> <p>・実務者会議(R4.7月、11月に実施)      ・個別ケース会議(4回8ケース実施)      ・代表者会議(12月実施)</p>				

R4年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>・要対協と教育課、学校との連携について、以前より敷居が低くお互いが情報共有できるようになっている。</p> <p>・不登校が増えており、生活のしづらさ、育てづらさがあり、個別の対応や家以外の居場所が必要となっている。</p> <p>・個々のケースがそれぞれ重複課題を抱えて、対応に時間を要し、信頼関係を築くのに時間を要している。</p>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：対応件数が増加しており、継続して対応する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>・要対協事務局の専門職の確保、継続支援体制の構築が必要。より専門的に動くため、R5はこども家庭センター設置。</p> <p>・子育て支援(不登校等支援、保護者支援等)を計画的に進める。(こどもの生活・学習支援事業の実施)</p> <p>・妊娠期～の切れ目ない支援を行なっていく。地域で支える仕組みづくりも視野に行う。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	ちづ保育園事務費	事業番号	2050		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番

R4 年度

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	「共に手を携え生きていく力を育てる」
(1)ちづ保育園の全体計画、年間指導計画、例月計画をもとに、日々の安全で安心できる健やかな保育を実施する。 (2)特別保育の実施により多様化する就労形態に寄り添い、子育てと暮らしを支える。 (3)地域の方との積極的な交流を図り、子どもの成長発達に繋げる。	

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	240,805,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	保育の質向上のための研修等(指導計画検証)	回	50	50	54	108%
②	小学校との円滑な接続にかかる就学支援	回	5	5	5	100%
③						#DIV/0!
実施内容		・特別保育では職員が確保でき、安定した保育を実施することができた。 ・多様化する時代の変化に対応した保育を行うため、職員研修と保育理念の共有を図り、スキルアップを図った。 ・運動会、作品展では地域の方を招き、少しだが保育園の様子を知ってもらった。				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・コロナのため出勤できない職員もあった、皆の協力でなんとか保育園の運営ができた。安定した保育ができる人員数を確保する必要がある。 ・若手保育士が増加し、保育士の対人支援スキルの向上により保育の質を高めていく必要がある。				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 就学前児童の健やかな育ちを支え、家庭と連携して良好な発達を支援している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
・新しい生活様式に対応した保育方法や家庭との連携体制が求められる。 ・行事等、YouTube配信を実施し、保護者の子どもへの関心を高める。 ・地域の方との交流を計画し、子どもの心やからだの成長発達に繋げる。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	保育園事務費	事業番号	1080		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番 112

R4 年度

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労等の事由で家庭での保育が難しい状況の園児を保育時間外に保育する「延長保育」、風邪等に罹患した状態を保育する「病児保育」、一時的な保育を行う「一時預かり事業」の実施。</li> <li>・多様な年齢、特性を持った子どもを受け入れる「乳児保育」、「障がい児保育」の実施。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	延長保育利用希望申請園児数	人	68	60	38	56%
②	病児保育利用者数	人	104	120	34	33%
③	一時預かり事業利用希望者数	人	80	100	145	181%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から開始した会計年度任用制度に基づき、職員配置の適正化と園運営の安定化のために保育時間の改正。</li> <li>・保護者の保育ニーズを調査し、第2期子ども子育て支援事業計画を策定。</li> </ul>					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の多様な保育ニーズに沿ったきめ細かい保育サービスの提供。</li> <li>・利用を希望された保育サービスを提供するために必要な職員の確保及び配置の維持。</li> </ul>					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： ほのぼの保育所との連携により、待機児童の防止に貢献している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化に伴い、在籍園児数は減少しているものの特別保育を希望・利用する園児数には大きな変化が見られないため、現状を維持した保育サービスの提供を行う。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子育て支援センターの利用促進と家庭訪問事業による母子指導の場	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	子育て支援センター / 育児支援家庭訪問事業	事業番号	1786 / 1798		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	12	連番

R4 年度

Goal(目標)	子育て中の親子が相互の交流を行い、子育ての相談、情報の提供、助言、援助を行うことで孤立感や不安感の緩和を図る。
Plan(事業概要・計画)	<p>▶乳幼児保護者の幸福感アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の安らぎとワクワク感がある行事を企画し、集まりやす雰囲気をつくる。</li> <li>・保護者同士の対話を増やし、ママ友の繋がりによる安心感・連帯感を高めることが、育児不安の緩和に繋がる。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績見込額	5,622,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	利用人数	人	1,081	1,000	800	74%
②	設定保育・行事・お出かけ支援数	件	27	26	20	74%
③	子育て講座・のびっこ相談会数	件	3	6	6	200%
実施内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの広場 平日9:00～16:00開設 ・誕生会（毎月）・作って遊ぼう（毎月）・お出かけ支援（毎月）</li> <li>・行事（運動会・お楽しみ会・収穫祭・クリスマス会・お散歩会）</li> <li>・子育て講座（ベビー＆ママヨガ講座ほか）・のびっこ相談会</li> </ul>						

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<p>・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる身近な拠点としての中核的な役割を果たし、適時に必要な講座や情報提供を行い子育ての不安や負担の軽減につなげた。</p> <p>・昨年度末より新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントの中止、行事を縮小して行っているが、活動は充実しており満足感につながっている。・少子化、第2子以降無料により就園率が高く、未就園児の減少が課題である。</p>						

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 利用者のニーズをうまく取り入れ、育児中のリフレッシュとして作用している。				

R4 年度

Action(改善)						
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安らぐ空間づくりと仲間づくりに繋がる行事の企画を行う。</li> <li>・月に1回、土曜開所日を設け、乳幼児家庭だけでなく、就園就学家庭の利用を促す。</li> </ul>						

### 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者等移送サービス事業		所属	福祉課	SDG s	
事業(細目)名	社会福祉総務費		事業番号	1057		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	家族	事業番号	13	連番	114

R4年度

Goal(目標)	在宅生活の自立支援を図り、地域福祉の増進・地域の交通手段の確保					
Plan(事業概要・計画)	高齢者・介護認定者・障がい者等の移動手段を確保するため、タクシー利用費を助成。 シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う。					

R4年度

Do(実行)	R4実績額					8,624,490円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	福祉有償運送サービス	円	660,000	660,000	528,000	80%
②	タクシー利用助成	円	8,579,810	8,959,000	8,096,490	94%
③						#DIV/0!
実施内容	<p>シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う(利用者が負担する年会費に相当する額6,000円×88人)。</p> <p>また、高齢者・介護認定者・障がい者等の移動手段を確保するため、タクシー利用費を助成。75歳以上の免許不所持者、介護認定を受けた者、障害者手帳(身体・知的・精神)所持者が対象で、タクシー利用1回につき3,000円を上限として利用費を助成するタクシー券を年48枚(月4回分)交付する(最低500円は自己負担)。</p>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>タクシー利用費助成については、平成25年4月の施行以来、高齢者や障がい者等の日常生活に必要な交通手段を確保するための重要な役割を果たしている。</p>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	B	評価理由：交通弱者に必要な事業であったが、共助交通へ移行する。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画					
<p>タクシー利用費助成については、年々上昇する利用費に対して新たに令和2年度から県の補助金交付が始まった。令和5年度からは地域共助交通の運用が本格始動するため、タクシー利用費助成を終了する。</p>						

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	成年後見制度等の活用による高齢者の権利擁護の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・権利擁護事業費)/成年後見制度利用支援事業	事業番号	2105/1943		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	14	連番

### R4年度

Goal(目標)	高齢者の権利擁護の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者虐待、消費者被害など権利擁護に関する相談受付・対応、必要な情報提供。</li> <li>・ 消費者生活センター、あんしん相談センターささえー等との連携。</li> <li>・ 成年後見制度の利用促進における申請の支援。</li> </ul>

### R4年度

Do(実行)		R4実績額	11,527円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	高齢者虐待・権利擁護に関する相談実件数	件	5	5	7	140%
②	後見人等報酬助成件数	件	0	2	0	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人や家族、関係機関等からの権利擁護に関する相談の受付、対応、情報提供を行う。</li> <li>・ 消費者被害に関しては消費者生活センター、判断能力の低下がみられるケースについてはあんしん相談センターささえー等と連携して対応。</li> </ul>					

### R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待の恐れありと通報があったケースに対し、マニュアルに沿った対応ができています。</li> <li>期日を決めて、評価していくことが必要であるが、その判断が曖昧になりやすい。</li> <li>・ 消費者生活センターやささえー等の関係機関と随時相談、連携し、丁寧な対応や啓発活動が行えている。</li> </ul>					

### R4年度

評価	<b>B</b>	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：継続して対応する必要がある。				

### R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者虐待の初期対応は迅速に行っており、対応計画の作成及び対応は行っている。期限までに対応の評価が行えるよう、スケジュールを可視化できるようにするなど工夫する。</li> <li>・ 消費者被害や成年後見制度利用に関して、各関係機関と連携し、相談対応、啓発活動を引き続き行う。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	認知症初期集中支援推進事業	事業番号	2046			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	家族	事業番号	15	連番	116

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物忘れ相談日の設置</li> <li>・医療・介護の専門職(保健師、看護師、介護福祉士、社会福祉士等)が認知症サポート医の助言指導を受け、認知症地域支援推進員とも連携を図りながらチームを作り集中的に自立生活のサポートを支援をしていく。</li> </ul>

### R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>	7,959,280円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	物忘れ相談延件数	件	4	13	9	225%
②	検討件数	件	0	0	0	#DIV/0!
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月定例で物忘れ相談日を設け、タッチパネルを用いて認知機能低下の早期発見、早期対応を行い、本人や家族の安心に繋げる。</li> <li>・認知症初期集中支援チームの要件が整わず、ここ数年稼働できていない。</li> </ul>					

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物忘れを心配している人が相談に来やすいよう毎月定例で相談日を設けているが、訪れる人が少ない。</li> <li>・認知症処置集中支援チームは、実施体制が未整備のため活動できていない。関係医療機関等と連携しながら、要件を満たすための人員体制を整えていく必要がある。</li> </ul>					

### R4年度

<b>評価</b>	<b>C</b>	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	C	<b>評価理由</b> ：相談することを気軽に思える意識の醸成が必要。				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落の集まり等で気軽にタッチパネルを用いた検査ができ早期に相談対応できるような体制づくりが必要。</li> <li>・また、治療に結びつかない人や治療中断している人などを対象に支援を行う「認知症初期集中支援チーム」について、人員体制等を整え、再構築する必要がある。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3、11	
事業（細目）名	認知症地域支援・ケア向上事業	事業番号	2047			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	家族	事業番号	15	連番	116

### R4年度

Goal(目標)	高齢者の総合的な相談窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者家族の会の開催。</li> <li>・認知症当事者やその家族、地域住民などが集える場所(オレンジカフェ)の開催</li> <li>・認知症を知り地域で支える研修会の開催</li> </ul>

### R4年度

Do(実行)		R4実績額	3,104,765円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	介護者家族の会参加延人数	人	33	38	36	109%
②	認知症カフェ(オレンジカフェ)参加者	人	183	225	181	99%
③	認知症を知り地域で支える研修会	人	31	30	0	0%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人と家族の会鳥取県支部代表者を助言者に迎え、日ごろの家族の悩みを引き出したり、介護者同士の経験を共有しあっている。家族の会への参加が困難な場合は個別訪問し対応している。</li> <li>・世界アルツハイマー月間に合わせて認知症啓発のためのパネル展示実施。</li> <li>・認知症カフェを2ヵ所で毎月1回開催</li> </ul>				

### R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族だけでは抱えきれない相談の場として、介護者家族の集いは有意義なものとなっている。周知不足等もあるため更なる方法の検討も必要。</li> <li>・認知症カフェ参加者には現在当事者は不在。当事者が集えるような在り方の検討も必要。</li> <li>・住民に広く周知啓発するための研修会の開催ができていないため、開催に向けた取り組みが必要。</li> </ul>				

### R4年度

評価	<b>C</b>	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：啓発、研修等のあり方を検討する必要がある。				

### R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者家族の集いも極数名の参加者であり、ばらつきがある。</li> <li>・介護者家族の集い、認知症カフェともに住民への浸透率が低いため、周知・運営方法を検討する必要がある。</li> <li>・認知症を知り地域で支える研修会の企画の仕方を再構築する。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・総合相談事業費)	事業番号	2105		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者についての総合相談を受け付ける。</li> <li>・介護認定の申請受付。</li> </ul>

### R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>	20,962,537円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	総合相談受付延件数	件	4599	4700	6676	145%
②	介護認定新規申請受付件数	件	121	140	171	141%
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の総合相談窓口として、医療・介護・福祉や、それに関する社会資源についての情報提供も含めた総合相談を実施。関係機関との連携も行う。</li> <li>・総合相談の結果、要介護認定の申請が必要な人には、申請書類の受理、認定調査を行う。</li> </ul>					

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外関係機関や民生委員等と連携しながら、総合相談につないだ方がよいケースを早期に把握し、対応している。</li> <li>・高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの知名度は低く、引き続き窓口のPRは必要。</li> </ul>					

### R4年度

<b>評価</b>	<b>B</b>	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：実績が増加しており、継続して事業を行う。</b>				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い総合相談を行えるよう、引き続き、関係機関等との連携を行い、職員の質の向上（研修受講等）に努める。</li> <li>・地域包括支援センターの役割を、パンフレットや広報等を活用して周知する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり【総務課所管】	所属	教育課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	小学校・中学校同和教育研究事業	事業番号	1329・1330		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	16	連番

R4 年度

Goal(目標)	部落差別の現実をふまえ、差別に気づき、差別に負けない、人の痛みのわかる児童の育成、いじめやなかまはずし等を許さない人権を尊重する教育の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校同和地区進出学習会の実施</li> <li>・小中学校における部落差別をはじめとする差別の解消に向けた人権教育の充実</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	632,634円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	地区進出学習会の実施校	校	2	2	2	100%
②	学校における人権教育(人権学習公開等)の実施校	校	2	2	2	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校において地区進出学習会を実施し、地区児童生徒の学力向上、人権学習、仲間作りの充実を図った。</li> <li>・小中学校で人権教育公開学習を実施し、児童生徒の人権学習の取り組みを周知するとともに保護者、地域住民への啓発も行った。</li> </ul>				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育公開学習により子どもの人権学習を深めるとともに、保護者とともに考える機会を持つことができた。</li> <li>・総務課、児童館等の関係機関と連携し、人権教育を進めることができた。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： 教員と地域が連携した人権学習が進められている。
-------------------------------

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も小中学校及び総務課人権担当と連携し、人権教育の充実を図る。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	情報公開条例・個人情報保護条例に基づく円滑な情報公開の推進	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	一般管理費		事業番号		
総合計画	基本理念	一人ひとりの個性を活かしながら支え、つながる家族			
	視点	①家族	事業番号	⑰	連番 118

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町政の説明責任を全うすることにより、公正で開かれた町政を推進する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開の積極的な実施</li> <li>・個人情報取扱の厳正化</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				0
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績) 対前年比(%)
①	情報公開請求件数	件	49	50	44 90%
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開請求があった際、各担当課へ通知する。</li> </ul>			

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の情報公開請求件数は49件であり、円滑に処理をおこなえた。</li> <li>・3カ年の件数はR2年度が53件、R3年度が49件、R4年度が44件となった。</li> <li>・請求内容は工事設計書、本人通知制度に関する物が主だった。</li> </ul>				

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：条例改正等の見直し、情報公開事務も適正にできた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開条例、個人情報保護条例及び施行規則の見直しを適宜おこなう。</li> <li>・個人情報保護の厳正化にも注意しつつ、情報公開制度について、町報や告知端末等を使用して町民へ広く周知する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	買い物弱者のためのシステムづくり	所属	企画課	SDGs	10
事業(細目)名	地域支援促進事業	事業番号	2021		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	18	連番

R4年度(4月記入)

<b>Goal(目標)</b>	山間集落の買い物弱者に対して、町内の事業所が移動販売することで買い物弱者への支援を行う。その際に移動販売車運営経費について一部補助を行う。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売車等導入支援</li> <li>・買い物福祉サービス支援</li> <li>・土師地区計画作り</li> </ul>

R4年度(11月末に実績見込を記入)

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績見込額</b>				1,252,670円
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 土師地区計画作り	件	0	1	1	#DIV/0!
② 買い物福祉サービス支援交付件数	件	1	1	1	100%
③					#DIV/0!
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者への補助金を周知</li> <li>・1事業者へ補助金を交付</li> </ul>				

R4年度(11月末に記入)

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者を支援することにより、買い物弱者への買い物支援や高齢者の見守りに繋がっている。</li> <li>・事業者と状況経過のヒヤリングを行うことで、今後の運営や新たな買い物支援の検討に繋がっている。</li> </ul>					

R4年度(11月末に記入)

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	C
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由:	実施主体である事業者が見直しを検討しているため、可能な範囲で支援方法を検討すること。
-------	--

R4年度(11月末に記入)

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物福祉サービス支援(和貴の郷)は来年度運営を行わない。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域生活支援事業（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s	
事業（細目）名	地域生活支援事業	事業番号	1803		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	20	連番

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	地域の状況に応じ柔軟に事業を実施し、地域で日常生活及び社会生活を営むことが出来る。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を実施することで、障がい者等が地域で日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。障害者総合支援法に定められた必須事業と任意事業からなる。

### R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	3,896,944円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	事業実績見込	千円	3,340	4,013	3,896	117%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思疎通支援事業 延利用数70回</li> <li>・日常生活用具 延利用数294回</li> <li>・移動支援 延利用数22回</li> <li>・訪問入浴サービス 延利用数5回</li> <li>・自動車改造助成 延利用数1回</li> <li>・運転免許取得助成 延利用2回</li> </ul>						

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>						
現在利用者の居ない事業によっては、事業所がサービスを終了したものがあるため、利用希望者が出た場合には事業の実施方法等を見直すなど柔軟に対応して行く必要がある。一方、地域の実情に合わせて適宜必要な事業を追加するなどしている為、住民の生活に必要な役割は果たしている。						

### R4年度

<b>評価</b>	<b>B</b>	<b>方針</b>	<b>拡大</b>	<b>現状維持</b>	<b>抑制</b>	<b>廃止</b>
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：義務的事業であり、継続実施する必要ある。</b>				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
地域生活支援サービスについては利用者の状況変化や死亡により増減があるが、提供事業所や対象用具については関係事業所、他自治体と協議し提供体制の継続的な強化を図る必要がある。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業（障がい分）	事業番号	2099			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	20	連番	121

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	障がい者・その家族の心身の状態や生活の困り事が相談でき、地域で安心して生活出来る。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	障がい者・その家族の心身の状況や生活の困り感等の相談に応じ、必要に応じて医療や障がい福祉サービスの利用に繋げる。鳥取県東部4町共同で相談支援センターサマーハウスに業務委託し実施。障害者総合支援法に定められた必須事業。

### R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	3,020,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	相談回数	回	683	734	764	112%
②	サービス利用への結びつけ	名	4	3	5	125%
③	サマーハウスとの定例会	回	12	12	10	83%
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談（訪問・来所・電話・ファックス等）</li> <li>・個別支援会議</li> <li>・研修会・会議等への参加</li> <li>・見学・通院同行</li> <li>・ひきこもり訪問</li> <li>・その他個別ケースに応じた対応</li> </ul>				

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		業務を委託する相談支援センターサマーハウスの所在地からの距離、業務量の多さから、支援を必要とする際に即応が難しい場合も生じている。基本的には、対象者の個別性に応じた支援が出来ている。				

### R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：相談件数が増加傾向にあり、事業継続する必要がある。				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
継続して業務委託を実施し相談支援体制の提供を行う。鳥取県東部4町障害者地域生活支援協議会において基幹相談支援センターの設立について検討を行い、場合によっては一部事務を基幹相談支援センターへ委託し業務の改善を図る。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	世帯を横断する低所得者対策事業	所属	福祉課	SDG s	
事業（細目）名	生活困窮者自立相談支援事業	事業番号	2026		
総合計画	基本理念	一人ひとりの個性を生かしながら支え、つながる家族			
	視点	家族	事業番号	21	連番

R4年度

<b>Goal(目標)</b>	相談者が困ることが無いような体制作りを行う
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	生活に困難を抱える者の相談窓口のワンストップ化を実現し、相談者が困ることが無いような体制作りを行う。断らない相談支援を実現し、必要とされる出口事業（生活保護、家計改善、就労支援等）へのつなぎを行なう。

R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>	6,163,701円			
	活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	就労・就労準備支援利用者	人	14	10	10	71%
②	家計改善事業利用者	人	2	3	4	200%
③	こどもの居場所づくり・学習支援事業	人	882	10	2,098	238%
<b>実施内容</b>						
①被保護者、生活困窮者への就労及び就労支援支援（伴走型支援）						
②家計改善支援事業						
③子どもの食堂・子どもの学習支援事業（小学1年生～3年生,中学3年生）						

R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>						
① 重層的体制整備支援事業を実施し、総合相談を設け、就労や就労準備支援事業に移行出来てきた。						
② 家計の見直しを行い、浪費等防止出来たケースもあれば、改善できず他事業に移行する者もあった。						
③ こども食堂は順調に伸びている。学習支援は、少人数だがニーズがあり確実に実施できている。						

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：継続実施するとともに、周知方法等を検討する必要がある。				

R4年度

<b>Action(改善)</b>	
	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
令和4年度は、重層的支援体制整備に取り掛かり、総合相談窓口の設置を行った。より多岐に渡る相談に対応できるよう整えていくことが出来た。令和5年度に向けては、制度の周知、また、その他の関係機関と連携を深めたり、町民への周知を行っていく必要がある。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	自主防災組織の育成および活動支援	所属	総務課	SDG s		
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	1	連番	123

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	自主防災組織（支え愛マップ作成済自治会）率100%
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会（自主防災組織）向け防災活動用補助金を活用した地域防災活動の支援。</li> <li>・支え愛マップづくりを支援する。→説明会の開催、実施支援。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				0円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	みんなで取り組む防災活動支援事業費補助金活用	自治会	3	3	0	0%
②	支え愛マップづくり	自治会	2	2	0	0%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金活用自治会：実績なし（町報11月号に補助金の記事掲載）</li> <li>・支え愛マップづくり支援：河一（継続）、河三（継続）、木原（継続）、新田（継続）、中村（継続）</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え愛マップづくり事業が新型コロナウイルス感染症の影響により減少</li> </ul>				

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：支え愛マップづくりの更なる取り組みが必要。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え愛マップづくりの新規作成、更新作業を社協と共に呼びかける。</li> <li>・補助金についての問い合わせもあることから関心・ニーズは少なからずあると思われるため、広報回数を増やし、活用を呼びかける。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	消防団活性化対策の推進	所属	総務課	SDG s		
事業（細目）名	非常備消防費	事業番号	1179			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	2	連番	124

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	消防団活動を継続させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員の装備の充実を図る。</li> <li>・消防団員の処遇改善。（報酬等）</li> </ul>

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R4実績額	29,449,566円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	消防団員数	人	388	364	363	94%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度末に団員報酬等をし、R4年度より報酬の個人支払を行った。</li> <li>・消防団員数を維持するために、戸別訪問を行い勧誘する。</li> </ul>				

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響設備を更新し、訓練の向上に寄与した。</li> <li>・団員報酬等の処遇改善と併せて幽霊団員等の処遇見直しを行っている。</li> </ul>				

### R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：団員報酬等の処遇改善を実施した。団員確保の継続が課題。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幽霊団員等の処遇見直しを継続して行う。</li> <li>・補助金等を活用し消防団員の装備の充実を図る。（R5年度は雨衣を整備予定。）</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	疎開保険事業	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	疎開保険事業	事業番号	1951		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	6	連番 126

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	加入者へ町の特産品を送ることで智頭町について興味を持ってもらい、関係人口の創出を図るとともに町内生産者の収入向上に繋げ地域活性化を目指す。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疎開保険加入者への特産品送付</li> <li>・疎開保険のPR活動の実施（疎開保険体験ツアー）</li> </ul>

R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績見込額</b>	1,601,793円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	加入口数（10月1日時点）	口	61	100	104	170%
②	特産品送付	回	1	1	1	100%
③	疎開保険NFT購入者	人	—	5	5	#VALUE!
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品送付（10月、11月実施）</li> <li>・疎開保険体験ツアー（11月実施）</li> <li>・疎開保険リブランディングの実施</li> </ul>				

R4年度

<b>Check(確認)</b>						
<b>評価項目</b>	<b>評価内容</b>	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・疎開保険体験ツアーの実施により、現加入者の満足度向上・事業に対する意見徴収ができた。</li> <li>・ツアーで得た意見から、来年は申込みシステムの刷新を図る。</li> <li>・返礼品事業についても、原材料・送料の価格高騰に対応しながら続けていく。</li> </ul>				

R4年度

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	評価理由： 実際に受け入れることを想定した取り組みが今後重要であると感じる				

R4年度

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込みシステムの見直しを行う。</li> <li>・疎開保険NFT購入者へのインセンティブ</li> <li>・好評だった疎開保険体験ツアーの実施継続、また、特産品を発送し智頭町の魅力を発信する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	まちづくり支援事業	所属	企画課	SDGs	8、11	
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくりまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	10	連番	127

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	コミュニティ団体やボランティア団体等が行う地域に密着した協働によるまちづくりを推進し、地域活動の振興を図り、まちづくりへの説教的な参加を促していくことを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ作成による全戸配布・情報周知</li> <li>・まちづくり団体による申請内容の精査</li> <li>・選考委員会の開催による事業採択</li> <li>・これまでの採択事業の経過を知るため、報告会を開催。</li> </ul>

### R4年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R4実績見込額	6,787,240円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	告知端末などの情報提供	回	6	6	6	100%
②	まちづくり支援事業の申請数	件	2	3	2	100%
③	②のうち採択事業数	件	2	2	2	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町HP、告知端末を活用した住民への周知を行った。（3期分）</li> <li>・申請事業を行う団体へのヒヤリングを実施。</li> </ul>					

### R4年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採択事業により新たなイベントの実施、智頭宿の観光の拠点づくり繋がった。</li> <li>・審査会開催の基準となる条件に達していないまま審査会を開催してしまった。</li> </ul>					

### R4年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：補助率も良く、活用しやすい事業であり、積極的な周知が必要				

### R4年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズに事業を実施するため、申請内容のより正確な審査が必要。</li> <li>・様々な団体へ補助制度の更なる周知の徹底。</li> </ul>

# 第7次総合計画進行管理検証シート(連番27、100、132を統合)

事業名	観光協会の機能強化及び国内外へのPR	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	観光事業	事業番号	1167		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	13	連番 128

R4年度

Goal(目標)	智頭町の観光の中核を担う観光協会内の魅力向上をはかる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光素材の磨き上げ。</li> <li>観光協会運営補助。</li> <li>旅行商品の造成。</li> <li>地域おこし協力隊を活用した新たな目線での観光PR。</li> <li>情報発信及び物販売り上げの増加。</li> <li>圏域内の自治体と連携し、オンラインPRイベントを開催する。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績		13,076,936円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	観光協会独自のツアー造成数	個	1	5	0	0%
②	物販売上収益	円	1,610,000	1,000,000	2,084,000	129%
③	都市部への観光PR・移住イベントの参加	件	4	6	7	175%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊を活用した新たな目線での観光PR及びツアー造成。</li> <li>売上増加のための物販陳列商品の見直し。</li> <li>観光協会への運営補助。</li> <li>観光協会HPや魅力発信事業を活用した国内外への魅力発信。</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会の運営は行政依存となっており、ツアー造成や物販売上の増加など自主努力を伴った運営気概を引き出す必要がある。</li> <li>PRイベントについてはコロナが一段落して前年より多く参加し、智頭町のPRを行った。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	---	----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B	評価理由:	コロナウイルス感染症の影響でPR活動が出来ていないが、2025大阪万博に合わせた取組・PRが必要である。
----	---	-------	--

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は売上及びアフターコロナに向けた観光客増加に向けた自主的な取り組みが必要不可欠であり、そのための連携強化を計る。</li> <li>智頭町の特色である取組(森のようちえん・住民自治・SDG s等)を対外的にPRし、コロナ後を見据えた効果的な種まきを行い、観光協会の収入源となる旅行商品数を増加させる必要がある。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	東部圏域をはじめとする近隣自治体との連携による移住定住促進及び広域観光事業	所属	企画課	SDGs	17	
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	14	連番	129

R4年度

Goal(目標)	鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、新温泉町、香美町と連携することにより、県外の人にイメージをもってもらいやすくし、観光PRや移住定住相談等の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の自治体と連携し、移住相談会を開催する。</li> <li>・魅力発信事業による町のPRを推進する。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R3実績額					4,224,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	移住相談会への参加	件	1	1	1	100%
②	町民ライター数の増加	人	9	10	7	78%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民ライターとの定期的な意見交換</li> <li>・佐用町・美作市との連携を再開（「因幡街道三宿連携会議」の発足）</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校生ライター」の実現等により、町の魅力発信を図ることが出来た。</li> <li>・以前実施するも形骸化していた佐用町（平福宿）・美作市（大原宿）との連携を再開し「因幡街道三宿連携会議」として広域での観光集客を図るべく、その準備協議を行った。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進及び観光客増加をしていくため、中核市である鳥取市との連携しアフターコロナに向けた効果的なPR方法について協議を重ねる。</li> <li>・三宿連携等を足掛かりとして広域での観光魅力化を促進し集客の増を図っていく。</li> </ul>						

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報発信の強化	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	文書広報費	事業番号	1008		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	18	連番 131

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	広報誌作成等を通し、住民らに行政情報や話題を提供するほか、町外の方に智頭町に興味を持ってもらう契機とする				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回の広報誌の発行</li> <li>・読み手が興味を持つような記事の作成(随時)</li> <li>・読みやすく、興味を引くようなレイアウト、書体の検討(随時)</li> <li>・ホームページでの情報発信方法の検討</li> <li>・町政に関する情報の発信</li> </ul>				

R4年度

Do(実行)	R4実績見込額		4,545,820円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	広報担当者主導による特集作成数(イベント等によるものを除く)	件	5	4	4	80%
②	広報誌の発行数	冊/年	12	12	12	100%
③	外部団体SNS、発行物への情報提供数	件	7	8	7	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回の広報誌の発行</li> <li>・広報誌のレイアウト検討</li> <li>・麒麟のまちリレー記事等の作成</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町で行っている事業や開催予定のイベント、くらしの情報について情報を発信した。</li> <li>・広報紙製作費用が、他市町村よりも事業規模と比較して大きくなっている実態があるので見直しが必要。</li> <li>・LINEアカウントの活用についても、災害に特化するなど見直しが必要。</li> </ul>				

R4年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： プロポーザルなどを実施予定であったが、実行できていない。視覚的にも読みやすい広報誌を手がけて欲しい				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報媒体としてだけでなく、読み物としても楽しめるような広報誌の作成(需要がありそうな特集記事の作成など。)</li> <li>・広報誌制作コストと読みやすいデザインを両立するための検討。(ページ数の調整/文字数の削減など)</li> <li>・LINEの効率的な運用の検討。</li> </ul>					

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかい奨学パッケージの推進	所属	企画課	SDGs	17
事業（細目）名	おせっかい奨学パッケージ推進事業	事業番号	2086		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	③ 仲間づくり	事業番号	20	連番

### R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	子どもたちの学びたい気持ちを支援し、町外で学ぶ間もおせっかいでの町、町民とのつながり続け、子どもたちの町への愛着を育てる。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おせっかい奨学パッケージを周知し、おせっかい奨学基金を支えるため寄附活動を行う。</li> <li>・おせっかい奨学生インターンプロジェクトにより、奨学生と地域がつながる仕組みをつくる。</li> <li>・メンターが発行する「月刊おせっかい」により顔の見える関係性をつくる。</li> </ul>

### R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績見込額</b>	3,335,439円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	寄附（企業版ふるさと納税含む）	円	1,633,635	1,000,000	1,105,768	68%
②	インターンプロジェクト	人	1	2	0	0%
③	月刊おせっかい発行	号	11	12	10	91%
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業版ふるさと納税1社</li> <li>・インターンプロジェクト 0名実施</li> <li>・月刊おせっかい創刊号～19号、号外2の計21号を刊行済</li> <li>・おせっかい川柳21首応募</li> <li>・おせっかい協賛企業1社</li> <li>・おせっかい交流会1回実施</li> </ul>				

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターン応募がなかった（問い合わせはあったが）。</li> <li>・鳥取信用金庫と連携した説明会に16家庭が参加。</li> <li>・おせっかい交流会に3名参加、交流を深めた。1名Uターン。</li> </ul>				

### R4年度

評価	A	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：奨学生は増加傾向にあるが、メンターが不足気味なので関係団体との連携を強化すること				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内企業へ向けた、おせっかい協賛制度の創設</li> <li>・インターンプロジェクト第2弾の計画</li> <li>・メンターとの交流事業実施</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共下水道整備事業	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	公共下水道整備費	事業番号	1423			
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	4	連番	135

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストックマネジメントによる継続的、計画的な施設の更新</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額			0千円		
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
① 農業集落排水	千円	0	0	0	#DIV/0!	
② 公共下水道	千円	1,375	41,639	0	0%	
③					#DIV/0!	
実施内容	<p>【令和2年度】紅葉橋マンホールポンプ及び公共下水道マンホールポンプ場監視通報装置更新に伴う設計業務の委託</p> <p>【令和3年度】紅葉橋マンホールポンプ及び公共下水マンホールポンプ場監視通報装置改築更新</p> <p style="padding-left: 40px;">智頭浄化センタースクリーンユニット改築更新に伴う設計業務の委託</p>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストックマネジメントに基づき、修繕、改築を発注。</li> </ul>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<p>ストックマネジメントで設定する改築年数より劣化が見られる施設もあるため、計画を前倒しするなどの見直しをする必要がある。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぐるぐるプラン推進事業	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	ぐるぐるプラン推進事業	事業番号	1854			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	21	連番	137

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	生ごみの減量化、資源化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみを分別収集し、液肥にすることでリサイクルする。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	3,894,232円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 生ごみ回収量	ト	60	60	60	100%
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみを分別収集</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は山形・山郷地区での実施だが、いかに実施地域を広げるか、課題が残る。</li> </ul>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>生ごみの収集について、ぐるぐる循環部会（百人委員会）とも力を合わせ、さらなる啓発を行っていく必要があると考える。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	清掃総務費	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	清掃総務費	事業番号	1118			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	22	連番	138

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	リサイクル・リデュースでごみの削減
Plan(事業概要・計画)	・資源ごみ回収に報奨金

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	120,396円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 資源ごみ回収量	トン	86	100	81	94%
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	・資源ごみ回収に報奨金				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・資源ごみ回収によるリサイクルの啓発が出来た。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	B	評価理由：				
評価						

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画 今年度と同様にリサイクルの啓発を継続していく。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかいのまちづくり推進事業	所属	福祉課	SDG s	
事業（細目）名	社会福祉総務費	事業番号	1057		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	IV-1

R4年度

Goal(目標)	少しのおせっかいで人と人とがつながり、安心で安全な住みよいまちをつくる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おせっかいチャレンジカードの実施 年7回（小中学校）</li> <li>・町報紙、告知端末、SNS等を活用したおせっかいのまちづくりPR</li> <li>・まちのコイン「てご」を活用し、おせっかいの取り組みを促進</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R3実績見込額		289,697円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	おせっかいチャレンジカードの実施	回	7	7	7	100%
②	町報紙でのPR	回	3	3	3	100%
③	告知端末でのPR	回	14	20	20	143%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生を対象に、毎月1日の「おせっかいの日」に、自分にできる小さなおせっかいに取り組んでもらい、『おせっかいチャレンジカード』に記入してもらう。</li> <li>・町報紙や告知端末（毎月2回）、町の公式SNS等を用いて、おせっかいのまちづくりをPR</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		町報紙への掲載やグッズ等によるPRを行ってきたが、実践につながる事業展開ができていなかった。そこで、令和2年度から小中学生にターゲットを絞って事業の実施を試みている。概ね8～9割の実施率であるが、実施が難しい年代もあるため、実施内容を検討する必要がある。				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	-	評価理由：企画課へ移管。				

R4年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
おせっかいチャレンジカードは実施期間等を改善し、来年度も引き続き実施する。小中学生だけでなく、保育園でもおせっかいのまちづくりをPRできるように啓発活動を行う。 幅広い年代への周知のため、町報紙や告知端末だけでなく、SNSを活用したPRも行う。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	障がい者作業所等通所費助成事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくりまちづくり				
	視点	家族	事業番号	連番	IV-2	

R4年度

<b>Goal(目標)</b>	障がい者作業所等へ継続して通所できる環境を保つ
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	障がい者作業所等へ通所するにあたって利用する自家用車、公共交通機関に要する費用の一部を助成することで、経済的に継続して通所可能な環境を保つことを支援する。 3の倍数月毎に、過去3ヶ月分の実績を基に申請を受け付け、年4回の支払を行う。

R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	617,550円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	令和4年1～9月分申請実績 26名	千円	512	459	469	92%
②	令和4年10月～12月分申請実績 24名	千円	164	213	148	90%
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関利用者 15名、自家用車利用者 11名に対して助成を実施。</li> <li>・内、今年度新規申請者 2名。</li> </ul>				

R4年度

<b>Check(確認)</b>						
<b>評価項目</b>	<b>評価内容</b>	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<p>申請書類の提出が遅い事業所があり、支給決定に遅れが生じている。</p> <p>利用可能にも関わらず未申請の対象者が複数名おり、声かけ等で利用勧奨を行い、周知に努めている。</p>				

R4年度

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由</b> ：継続実施する必要がある。				

R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>引き続き町村会要望で県費での財政支援の実施を求める。</p> <p>令和5年度より開始となる共助交通を利用して通所する障がい者に対しても引き続き助成を行う。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人と地域をつなぐまちのコイン導入事業	所属	企画課	SDG s	11.17
事業（細目）名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番

### R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	R3年度に本導入したまちのコインの利活用を促進する。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントに抱き合わせてまちのコインの利用場所を増やす。</li> <li>・運営団体候補者の選出・育成</li> </ul>

### R4年度（年度末に実績を記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	6,842,000円				
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	スポット数	件	39	60	49	126%
②	ユーザ数	人	488	600	746	153%
③	イベント回数	回	4	12	15	375%
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県八女市との周年コラボイベントの実施。</li> <li>・先進地視察（鎌倉：クルッポ、秋葉原：アキコ）</li> <li>・ちのりんショップに併せ「つながる市」（古着バザー）の実施。</li> </ul>					

### R4年度（年度末に記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等に併せてまちのコインを絡めているため認知度は向上している。</li> <li>・まちのコインを活用できる場が少ないため恒常的に使える体験が必要（アップサイクル）。</li> </ul>					

### R4年度（年度末に記入）

<b>評価</b>	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	評価理由： 認知度は向上しているが、実際に利用される機会を増やす対策が必要				

### R4年度（11月末に記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントにまちのコインを絡め町内に波及させていく。</li> <li>・運営団体の育成を行い、まちのコインを自走していただく。</li> <li>・スポットを増やし、まちのコインの利用場所を増やす。</li> </ul>	